

## 会 議 録

会 議 録	令和5年度 山陽小野田市高齢者保健福祉推進会議（第3回）	
開催日時	令和6年3月21日（木）15:00～16:05	
開催場所	高千帆地域交流センター分館 第1・2会議室	
出席者	石原克宏委員、伊藤武委員、井上恵子委員、上村誉恵委員、江本尋美委員、屋宮ミナ子委員、坂井久美子委員、土井直子委員、中務達也委員、永富恵子委員、中村聡委員、萬代聰子委員、堀田慎一郎委員、松富憲太委員、美濃康之委員、森川繁夫委員	
欠席者	上林雅樹委員、草田和枝委員、萩田勝彦委員、長谷亮佑委員	委員数 20人 出席者数 16人 欠席者数 4人
事務局	（福祉部高齢福祉課） 福祉部長 吉岡忠司、福祉部次長兼高齢福祉課長 尾山貴子、 高齢福祉課技監兼地域包括支援センター所長 荒川智美、 高齢福祉課長補佐 竹内広明、高齢福祉課主査 篠原紀子、 介護保険係長 見田健治、 地域包括支援センター所長補佐 古谷直美、 高齢福祉係長 藤永一徳、高齢福祉係 山村咲綾	
会議次第	1 辞令交付 2 部長あいさつ 会長・副会長選出 3 議事（審議事項） (1)第9期高齢者福祉計画概要版（案）について (2)市民意見公募（パブリックコメント）の結果について (3)第9期高齢者福祉計画（案）の介護保険追加記載分について (4)今後のスケジュールについて (5)保険者機能強化推進交付金と保険者努力支援交付金の評価結果について 4 その他	

### 会議要旨

開会	
1 辞令交付	辞令交付を行った。
2 福祉部長あいさつ	福祉部長から挨拶を行った。

事務局	委員20名の内、16名の出席により、会議が成立したことを報告した。
会長・副会長 選出	事務局より推薦を求めたが、該当がなかったため、事務局案として会長に萩田委員、副会長に森川委員を提案し、委員から承認された。  会長が欠席のため、副会長が職務を代理することとなった。
3 議事	審議事項
《説明》	「(1)第9期高齢者福祉計画概要版(案)について」 資料2、追加資料「法令関係等」について、事務局から説明した。
《説明》	「(2)市民意見公募(パブリックコメント)の結果について」 第9期山陽小野田市高齢者福祉計画(案)の市民意見公募(パブリックコメント)を令和5年12月1日から令和6年1月4日まで実施した。結果は0人で意見がなかった旨、事務局から報告した。
《説明》	「(3)第9期高齢者福祉計画(案)の介護保険追加記載分について」 資料1、資料3について、令和6年度から令和8年度までの介護給付の見込みと介護保険料の算出結果を事務局から説明した。
《意見・質疑》 委員 事務局	○ 訪問介護と訪問看護について、令和6年度以降の計画値は令和5年度までの計画値より少なくなっているのはなぜか。 → 令和3年度から令和5年度までの計画値は、第8期計画に記載している値となり、令和6年度以降の計画値がこのたび推計した値となる。  令和5年度と令和6年度の計画値を比較すると利用人数が減少しており、これは実績を基に計画値を推計したことから乖離が生じたものとなるが、実績見込みは、どちらのサービスも高齢化の進展等により増加していく見込みとしている。

<p>委員 事務局</p>	<p>○ 介護保険料について、減額や増額となる区分を教えてください。</p> <p>→ 第9期の介護保険料基準額は、第8期と同額となる。 本市の介護保険料は、これまで所得段階を11段階としていたが、令和6年度からは国の標準段階が改正されたため、国に合わせて13段階とする予定。 比較的 low 所得者層に該当する第2段階と第6段階の介護保険料については、国の基準のままでは第8期と比べて増額になるため、本市独自の措置として、これまでと同額に据え置いている。7段階以上の介護保険料については、概ね増額することになる。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>○ 計画に地域運営組織の記載がないのはなぜか。</p> <p>→ 現在、各地域で地域運営組織の設立に向けて協議が進められているが、現時点で正式な設立時期が未定であるため、本計画には含めないこととした。 地域運営組織設立後は、協力して地域づくりを進めていくことに変更はない。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>○ ヤングケアラーの割合について、把握しているのか。</p> <p>→ ヤングケアラーに対する支援は、この第9期において国から地域包括支援センターの業務として示されたものとなるため、高齢福祉課では把握できていない。 ヤングケアラーは多分野が関わっており、学校、子育ての分野において、県下でアンケート調査分析が行われている。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>○ 計画の中で、看取りについて記載されている。今後、どのように取り組んでいくのか教えてください。</p> <p>→ 医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で人生の最後まで自分らしい暮らしができるよう、医療と介護の関係者が連携する事業として、在宅医療・介護連携推進事業に取り組んでいる。以前から実施している事業であるが、今後も力を入れて取り組んでいきたいと考えている。</p>
<p>《説明》</p>	<p>「(4)今後のスケジュールについて」 本計画に係る今後のスケジュールを事務局から説明した。 3月議会に介護保険条例等の一部改正に係る議案を上程しており、新年度予算を含めこれらの議決をもって、第9期山陽小野田市高齢者福祉計画策定が完了し、4月からの実施とな</p>

<p>《説明》</p> <p>4 その他</p> <p>閉会</p>	<p>る。</p> <p>計画期間は令和6年度から令和8年度までの3年間となり、今後、年度ごとに計画の進捗管理を行い、本会議において報告し、意見をいただくことで、PDCAサイクルを回していきたいと考えている。</p> <p>「(5)保険者機能強化推進交付金と保険者努力支援交付金の評価結果について」</p> <p>資料4を用いて、事務局から説明を行った。</p> <p>その他の連絡事項はなかった。</p> <p>課長挨拶</p>
------------------------------------	---